

受験番号

中部会計専門学校

模範解答

平成 22 年 度
第 125 回 簿 記 検 定 試 験

1 級

商業簿記・会计学

(制限時間 1 時間 30 分)

(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 22 年 6 月 13 日(日)施行)

受験
番号

--	--	--	--

第 125 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ①

氏名 _____

商 業 簿 記

決算整理後残高試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位: 千円)

採 点 欄

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金 預 金	(6,782)	支 払 手 形	(1,500)
受 取 手 形	(4,000)	買 掛 金	(8,600)
売 掛 金	(12,000)	預 り 営 業 保 証 金	(400)
有 価 証 券	(420)	貸 倒 引 当 金	(810)
繰 越 商 品	(3,276)	未 払 費 用	(36)
前 払 費 用	(38)	未 払 法 人 税 法	(400)
未 収 収 益	(34)	未 払 消 費 税	(431)
繰 延 税 金 資 産	(663)	繰 延 税 金 負 債	(304)
建 物	(3,570)	リ ー ス 債 務	(1,859)
土 地	(16,800)	リ ー ス 資 産 減 損 勘 定	(988)
リ ー ス 資 産	(1,732)	長 期 借 入 金	(5,000)
満 期 保 有 目 的 債 券	(990)	退 職 給 付 引 当 金	(600)
投 資 有 価 証 券	(640)	資 本 金	(17,000)
破 産 更 生 債 権 等	(300)	資 本 剰 余 金	(5,000)
売 上 原 価	(15,444)	利 益 剰 余 金	(8,071)
貸 貸 原 価	(300)	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	(24)
販 売 費	(1,524)	売 上	(23,760)
一 般 管 理 費	(2,674)	貸 貸 収 入	(400)
建 物 減 価 償 却 費	(270)	受 取 配 当 金	(35)
リ ー ス 資 産 減 価 償 却 費	(866)	受 取 利 息	(74)
退 職 給 付 費 用	(160)	有 価 証 券 利 息	(40)
貸 倒 引 当 金 繰 入	(610)	有 価 証 券 運 用 益	(40)
租 税 公 課	(431)	法 人 税 等 調 整 額	(175)
支 払 利 息	(235)		
減 損 損 失	(988)		
法 人 税 等	(800)		
	(75,547)		(75,547)

第 125 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採点欄

第 1 問

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適当な語句
1	b	総額で売上高
2	○	
3	b	特別利益
4	b	ヘッジ手段
5	a	継続企業

採点欄

第 2 問

問 1

I 欄 資産 A の簿価	II 欄 資産 A の減損損失
¥ 59,500,000	¥ 31,416,800

問 2

	I 欄 各資産の簿価	II 欄 各資産の減損損失
資産グループ B	¥ 12,500,000	¥ 3,400,000
資産グループ C	¥ 2,812,500	¥ 512,500
共用資産	¥ 62,500,000	¥ 2,050,000

第 3 問

負	債	と	は	、	過	去	の	取	引
等	の	結	果	と	し	て	、	報	告
主	体	に	生	じ	る	経	済	的	資
源	の	放	棄	も	し	く	は	、	引
き	渡	す	義	務		で	あ	る	。

受験
番号

--	--	--	--	--

第 125 回簿記検定試験答案用紙 _____

試験地 (会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

第 1 問
問 1

採点欄

<u>損益計算書</u>		(単位：円)
売上高		25,000,000
売上原価		
標準売上原価	(14,800,000)	
標準原価差異	366,600	(15,166,600)
売上総利益		(9,833,400)
販売費及び一般管理費		4,155,400
営業利益		(5,678,000)

問 2

①	7,920,000 円	②	105,600 円	③	2,850,000 円
④	3,758,400 円	⑤	230,600 円	⑥	16,280,000 円

問 3

材料受入価格差異		90,000 円 (借)
直接材料費差異	材料消費量差異	105,600 円 (借)
直接労務費差異	労働賃率差異	64,000 円 (借)
	労働時間差異	33,600 円 (貸)
製造間接費差異	予 算 差 異	37,000 円 (借)
	能 率 差 異	14,400 円 (貸)
	操 業 度 差 異	208,000 円 (借)

(注) 金額の後の () 内には、借方差異ないし不利差異であれば、「借」または「不利」、貸方差異ないし有利差異であれば、「貸」または「有利」と記入しなさい。

第 2 問

①	経営管理者の各階層	②	原価管理	③	原価能率
④	予算	⑤	予算統制	⑥	利益目標
⑦	調整	⑧	予算原価	⑨	標準原価

原 価 計 算

試験地 (会議所名)	採 点 欄

問 1

採 点 欄

(1) 製品Bの製造・販売を開始した後は、製品Aを3個製造した場合には、製品Bの製造を何個犠牲にすることになるか。

4 個

採点欄

(2) 製品Bの製造を1個犠牲にするといくらの利益を失うか。

4,000 円

(3) 製品Aを3個製造すると、購入済みの材料aを売却した場合に得られるであろう収益をいくら犠牲にするか。

3,000 円

(4) 製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを3個製造することの機会原価はいくらか。

19,000 円

問 2

製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを1,500個製造、販売することは、製品Bのみを製造、販売する場合に比べて

500,000 円

有利
不利

(いずれかを○で囲む)

問 3

アタッチメントをレンタルしない場合と比べて、このアタッチメントをレンタルするほうが、1ヵ月当たり

3,750,000 円

有利
不利

(いずれかを○で囲む)

問 4

(1) 81,120,000 円

(2) 64,480,000 円

(3) 65,400,000 円

(4) 90,955,688 円

商業簿記解説(単位：千円)

[資料Ⅱ]

1

土地	4,800	／	長期借入金	5,000
固定資産売却益	2,200	／	投資有価証券	2,000
貸貨原価	300	／	貸貨収入	400
支払利息	100			

2

破産更正債権等	300	／	長期貸付金	300
貸倒引当金繰入	610	／	貸倒引当金	610

(1) $(2,000 - 400) \times 30\% = 480$

(2) $\{(4,000 + 12,000) - 2,000\} \times 2\% = 280$

(3) $300 - 250 = 50$

設定額 $\frac{480}{\quad} + \frac{50}{\quad} = 810 - 200 = 610$

繰入額 $810 - 200 = 610$

3

仕入	4,020	／	繰越商品	4,020
繰越商品	3,276	／	仕入	3,276

原価率： $\frac{4,020 + 14,700}{5,750 + 20,770 + 2,880 - 600} = 0.65$

期末商品棚卸高： $5,040 \times 0.65 = 3,276$

4

有価証券	40	／	有価証券運用益	40
投資有価証券	40	／	繰延税金負債	16
		／	その他有価証券評価差額金	24
満期保有目的債券	10	／	有価証券利息	10

A社株式：時価420－帳簿価額380＝40(評価益)

B社株式：時価640－帳簿価額600＝40(評価益)

繰延税金負債 $40 \times 40\% = 16$ その他有価証券評価差額金 $40 - 16 = 24$

C社社債：償却額 $(1,000 - 970) \div 3 \text{年} = 10$

5

リース債務	865	／	現金預金	1,000
支払利息	135	／		
リース資産減価償却費	866	／	リース資産	866
減損損失	988	／	リース資産減損勘定	988
繰延税金資産	395	／	法人税等調整額	395

当期末リース債務の残高： $1,000 \times 1.8594 = 1,859.4 \rightarrow 1,859$

リース債務の返済額： $2,724 - 1,859 = 865$

減価償却費： $2,598 \div (5 \text{年} - 2 \text{年}) = 866$

減損損失：帳簿価額 $2,598 - 866 = 1,732 >$ 使用価値 $400 \times 1.8594 = 743.76 \rightarrow 744$
 $1,732 - 744 = 988$

繰延税金資産： $988 \times 40\% = 395.2 \rightarrow 395$

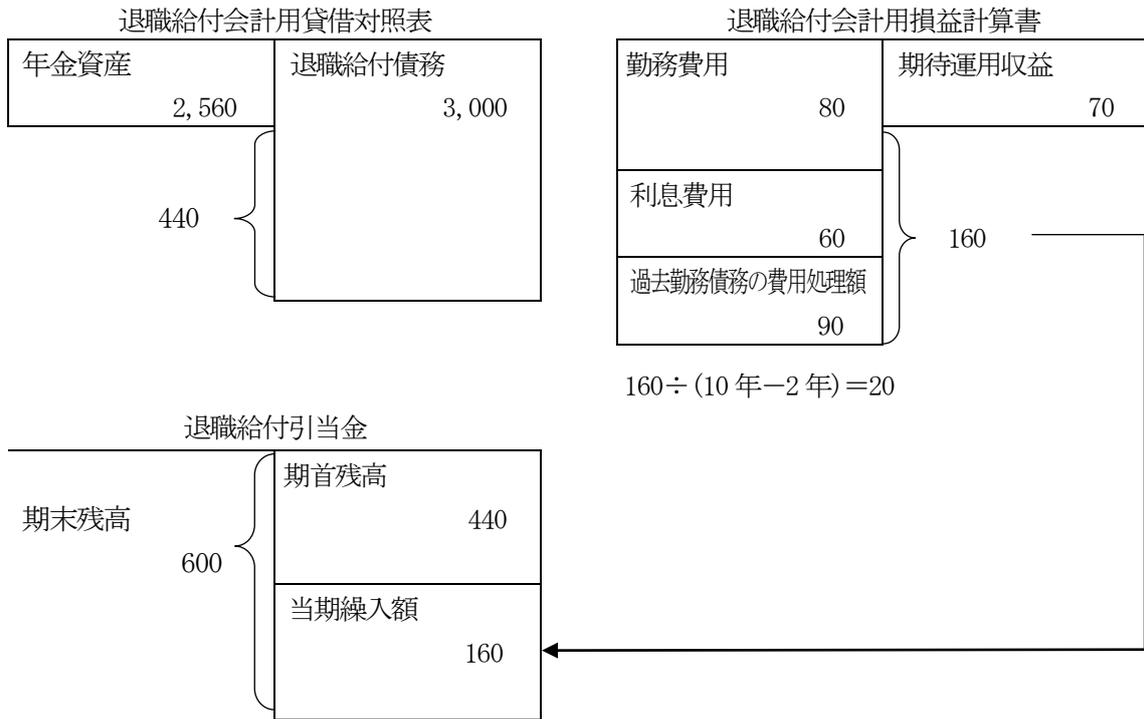
建物減価償却費	270	／	建物	270
---------	-----	---	----	-----

取得原価： $X - 0.9X \times 8 \text{年} / 20 \text{年} = 3,840$ $X = 6,000$

減価償却費： $6,000 \times 0.9 \div 20 \text{年} = 270$

6

退職給付費用 160 / 退職給付引当金 160



7

租 税 公 課 431 / 未 払 消 費 税 431
 仮受消費税：売上高 23,760 × 5% / 105% = 1,131.42 → 1,131
 仮払消費税：仕入高 14,700 × 5% / 105% = 700
 納付額：1,131 - 700 = 431

8

前 払 費 用 38 / 販 売 費 12
 一 般 管 理 費 26
 販 売 費 36 / 未 払 費 用 36
 未 収 収 益 34 / 受 取 利 息 34

9

法人税等調整額 200 / 繰延税金資産 200
 繰延税金資産 268 / 法人税等調整額 268
 法人税等調整額 288 / 繰延税金負債 288
 当期分繰延税金資産：670 × 40% = 268
 当期分繰延税金負債：720 × 40% = 288

10

法 人 税 等 800 / 仮 払 金 400
 未 払 法 人 税 等 400

会計学解説

第2問 (単位:円)

問1

減損損失を認識するかどうかの判定

帳簿価額

$$100,000,000 - (100,000,000 \times 0.9 \times 18 \text{年} / 40 \text{年}) = 59,500,000$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計

$$2,000,000 \times 20 \text{年} + 1,000,000 \times 2 \text{年} + 100,000 = 42,100,000$$

$$59,500,000 > 42,100,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

割引後将来キャッシュ・フロー(使用価値)

$$2,000,000 \times 13.590 = 27,180,000$$

$$1,000,000 \times 0.439 = 439,000$$

$$1,000,000 \times 0.422 = 422,000$$

$$100,000 \times 0.422 = 42,200$$

$$\underline{\underline{28,083,200}}$$

$$\text{使用価値 } 28,083,200 < \text{正味売却価額 } 25,000,000 \quad \therefore \text{回収可能価額 } 28,083,200$$

$$\text{減損損失 } 59,500,000 - 28,083,200 = 31,416,800$$

問2

資産グループB

減損損失を認識するかどうかの判定

$$\text{減価償却費 } 2009 \text{年 } 3 \text{月 } 50,000,000 \times 1 \text{年} / 5 \text{年} \times 250\% = 25,000,000$$

$$50,000,000 \times 0.06249 = 3,124,500 \quad \therefore \text{多い金額 } 25,000,000$$

$$2010 \text{年 } 3 \text{月 } (50,000,000 - 25,000,000) \times 1 \text{年} / 5 \text{年} \times 250\% = 12,500,000$$

$$(50,000,000 - 25,000,000) \times 0.06249 = 1,562,250$$

$$\therefore \text{多い金額 } 12,500,000$$

帳簿価額

$$50,000,000 - (25,000,000 + 12,500,000) = 12,500,000$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計 10,000,000

$$12,500,000 > 10,000,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

$$\text{減損損失 } 12,500,000 - 9,100,000 = 3,400,000$$

資産グループC

減損損失を認識するかどうかの判定

$$\text{減価償却費 } 2009 \text{年 } 3 \text{月 } 20,000,000 \times 1 \text{年} / 4 \text{年} \times 250\% = 12,500,000$$

$$20,000,000 \times 0.05274 = 1,054,800 \quad \therefore \text{多い金額 } 12,500,000$$

$$2010 \text{年 } 3 \text{月 } (20,000,000 - 12,500,000) \times 1 \text{年} / 4 \text{年} \times 250\% = 4,687,500$$

$$(20,000,000 - 12,500,000) \times 0.05274 = 395,550$$

$$\therefore \text{多い金額 } 4,687,500$$

帳簿価額

$$20,000,000 - (12,500,000 + 4,687,500) = 2,812,500$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計 2,500,000

$$2,812,500 > 2,500,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

$$\text{減損損失 } 2,812,500 - 2,300,000 = 512,500$$

第1問

生産データ		販売データ	
月初 500個 (200個)	完成品 1,100個 (1,100個)	月初 0個	完成品 25,000,000 ÷ @25,000
当月投入 900個 (1,080個)	月末 300個 (180個)	当月完成 1,100個	1,000個 月末 100個

問1

損益計算書

売上原価 $14,800 \text{円} \times 1,000 \text{個} = 14,800,000 \text{円}$

問2

材料勘定

当月仕入高 $9,000\text{kg} \times 880 \text{円} = 7,920,000$

①当月消費高 $(10\text{kg} \times 900 \text{個}) \times 880 \text{円} = 7,920,000$

②原価差異 貸借差額

製造間接費勘定

④配賦額 $3,480 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 3,758,400 \text{円}$

③固定費 $3,989,000 \text{円} - 1,139,000 \text{円} = 2,850,000 \text{円}$

⑤原価差異 $37,000 \text{(不利差異)} + 14,400 \text{(有利差異)} + 208,000 \text{(不利差異)} = 230,600 \text{(不利差異)}$

仕掛品勘定

月初有高

直接材料費 $8,800 \text{円} \times 500 \text{個} = 4,400,000 \text{円}$

直接労務費 $2,520 \text{円} \times 200 \text{個} = 504,000 \text{円}$

製造間接費 $3,480 \text{円} \times 200 \text{個} = \underline{696,000 \text{円}}$

合計 5,600,000 円

当月投入費用

①直接材料費 $8,800 \text{円} \times 900 \text{個} = 7,920,000 \text{円}$

直接労務費 $2,520 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 2,721,600 \text{円}$

④製造間接費 $3,480 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 3,758,400 \text{円}$

⑥完成品原価 $14,800 \text{円} \times 1,100 \text{個} = 16,280,000 \text{円}$

月末仕掛品原価

直接材料費 $8,800 \text{円} \times 300 \text{個} = 2,640,000 \text{円}$

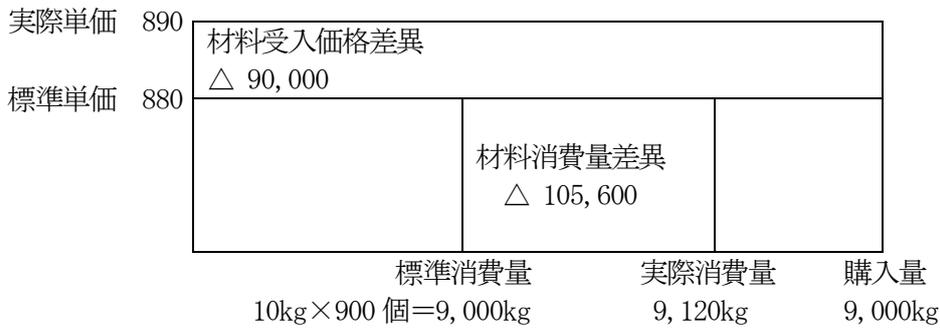
直接労務費 $2,520 \text{円} \times 180 \text{個} = 453,600 \text{円}$

製造間接費 $3,480 \text{円} \times 180 \text{個} = \underline{626,400 \text{円}}$

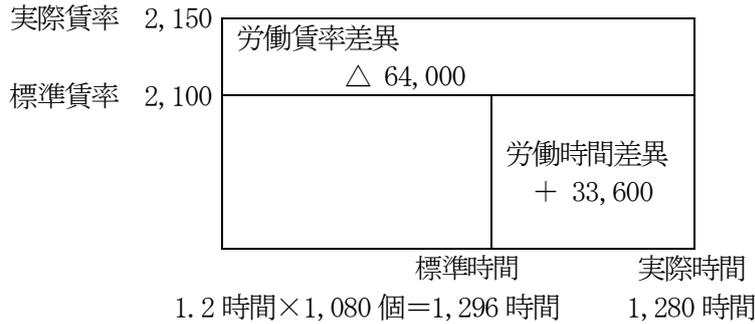
合計 3,720,000 円

問3

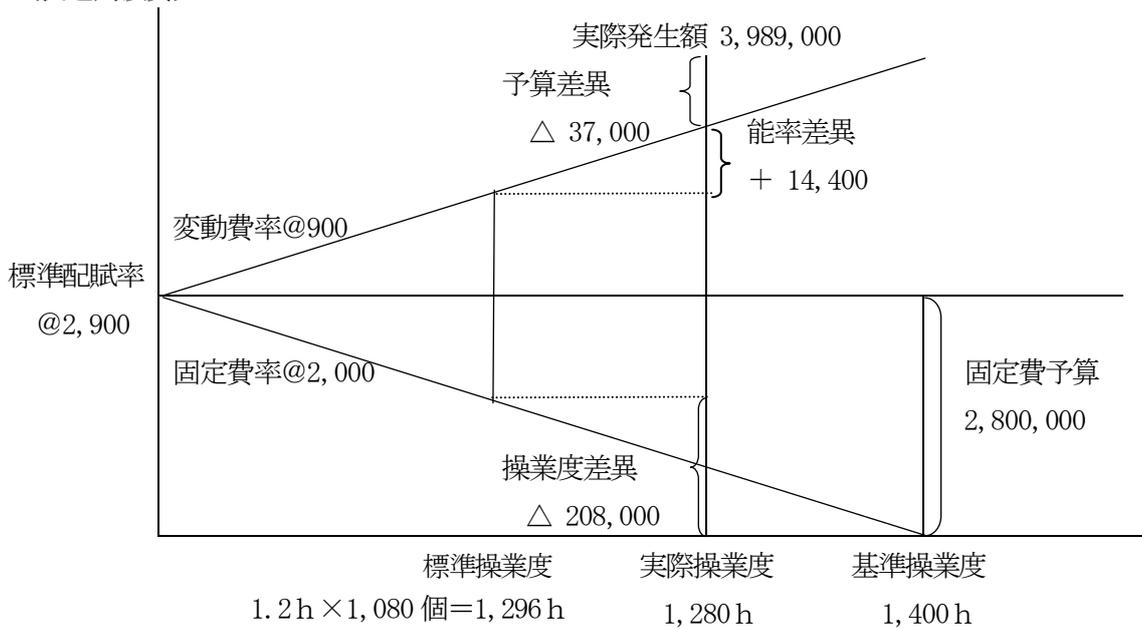
〔直接材料費〕



〔直接労務費〕



〔製造間接費〕



材料消費量差異 105,600 円(不利差異) + 労働賃率差異 64,000 円(不利差異) + 労働時間差異 33,600 円(有利差異) + 能率差異 14,400 円(有利差異) + 操作度差異 208,000 円(不利差異) = 329,600 円(不利差異)

予算差異 366,600 円(不利差異) - 329,600 円(不利差異) = 37,000 円(不利差異)

① 材料aの売却収入

現金預金	10,000,000	材	料	22,000,000
材料売却損	12,000,000			

② 材料aの売却損に対する法人税節約額

$$12,000,000 \times 40\% = 4,800,000$$

③ 売上高 (8,000個×12ヵ月) × @7,000 = 672,000,000

④ 直接材料費 (材料b) (8,000個×12ヵ月) × @3,000 = 288,000,000

⑤ 直接労務費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑥ 製造間接費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑦ 法人税等の支払額

売上高	672,000,000
直接材料費	288,000,000
直接労務費	120,000,000
製造間接費	120,000,000
税引前当期純利益	144,000,000
法人税等	57,600,000
税引後当期純利益	86,400,000

<アタッチメントを購入する案> 製品Bを1ヶ月9,000個と製品Aを1ヶ月750個製造・販売する

現在(T ₀)	1年後(T ₁)	2年後(T ₂)	3年後(T ₃)
(2010年度末)	(2011年度末)	(2012年度末)	(2013年度末)

			⑧ 5,000,000
in	② 810,000,000	② 810,000,000	② 810,000,000
out	① 90,000,000	③ 324,000,000	③ 324,000,000
	⑤ 120,000,000	④ 16,000,000	④ 18,000,000
	⑥ 120,000,000	⑤ 120,000,000	⑤ 120,000,000
	⑦ 78,480,000	⑥ 120,000,000	⑥ 120,000,000
		⑦ 79,120,000	⑦ 81,200,000

△ 90,000,000	+ 167,520,000	+ 150,880,000	+ 151,800,000
--------------	---------------	---------------	---------------

現在 △ 90,000,000円

1年後 + 167,520,000 × 0.9615 = + 161,070,480円

2年後 + 150,880,000 × 0.9246 = + 139,503,648円

3年後 + 151,800,000 × 0.8890 = + 134,950,200円

正味現在価値 + 345,524,328円

① アタッチメントの取得原価

② 売上高 (製品B) (9,000個×12ヵ月) × @7,000 = 756,000,000
 (製品A) (750個×12ヵ月) × @6,000 = 54,000,000
810,000,000

③ 直接材料費 (材料b) (9,000個×12ヵ月) × @3,000 = 324,000,000

④ 直接材料費 (材料a)
 2012年度末 {(750個×12ヵ月) - (10,000個 - 750個×12ヵ月)} × @2,000 = 16,000,000
 2013年度末 (750個×12ヵ月) × @2,000 = 18,000,000

⑤ 直接労務費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑥ 製造間接費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑦法人税等の支払額

	2011年度末	2012年度末	2013年度末
売上高	810,000,000	810,000,000	810,000,000
直接材料費	343,800,000	342,200,000	342,000,000
直接労務費	120,000,000	120,000,000	120,000,000
製造間接費	120,000,000	120,000,000	120,000,000
減価償却費	30,000,000	30,000,000	30,000,000
固定資産売却益	—	—	5,000,000
税引前当期純利益	196,200,000	197,800,000	203,000,000
法人税等	78,480,000	79,120,000	81,200,000
税引後当期純利益	117,720,000	118,680,000	121,800,000

直接材料費

2011年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @2,200 = \underline{19,800,000}$	
			<u>343,800,000</u>
2012年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$10,000 \text{ 個} - 750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月} \times @2,200 = 2,200,000$	
		$\{(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) - 1,000 \text{ 個}\} \times @2,000 = \underline{16,000,000}$	
			<u>342,200,000</u>
2013年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @2,000 = \underline{18,000,000}$	
			<u>342,000,000</u>

減価償却費 $90,000,000 \div 3 \text{ 年} = 30,000,000$

⑧2013年度末のアタッチメントの売却

現金預金	5,000,000	設	備	90,000,000
減価償却累計額	90,000,000	固定資産売却益		5,000,000

- (1) $+167,520,000 - +86,400,000 = +81,120,000$
- (2) $+150,880,000 - +86,400,000 = +64,480,000$
- (3) $+151,800,000 - +86,400,000 = +65,400,000$
- (4) $+345,524,328 - +254,568,640 = +90,955,688$